

発表項目 (行事名)	(速報値) 水痘の流行について (注意報)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>浦河保健所管内で水痘が流行する可能性があることから、注意報を発令しますので、お知らせします。</p> <p>なお、5月30日(木)に警報を発令したA群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、警報を解除しています。</p>		
参考	<p>全道の感染症流行状況については、北海道HP、浦河保健所で発令している警報等については、当所HPに掲載していますので、参考にしてください。</p> <p>○北海道感染症対策課HP URL : https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kst/149369.html</p> <p>○浦河保健所HP URL : https://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hgc/index.html</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	<p>・水痘は飛沫感染(空気感染)するため、患者との接触を避ける以外に有効な予防法がないので、感染した場合は、人混み等への外出を避けるようお願いいたします。</p> <p>・水痘を疑う症状(発疹・発熱)で、医療機関へ電話連絡をし、受診方法等について、医療機関の指示に従うようお願いいたします。</p>		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)	
担当 (連絡先)	北海道日高振興局保健環境部保健行政室(浦河保健所) 健康推進課長 今井 道子 電話 0146-22-3071		

(速報値) 水痘 (みずぼうそう) の流行について (注意報)

令和6年(2024年)8月1日(木) 15時00分

北海道日高振興局保健環境部保健行政室
(北海道浦河保健所)
電話: 0146-22-3071

道では感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生動向調査を実施しておりますが、令和6年(2024年)第30週(令和6年(2024年)7月22日~7月28日)において、浦河保健所管内の定点医療機関あたりの水痘患者報告数が、注意報基準である1人以上となりましたので、まん延を防止するため注意報を発令します。

記

1 水痘の感染予防

水痘の原因病原体である水痘-帯状疱疹ウイルスは飛沫核感染(空気感染)するため、患者との接触を避ける以外に有効な予防法はありません。平成26年10月より水痘ワクチンが定期接種となっており、1回の接種により重症化を、2回の接種により発症を防げると考えられています。

学校保健安全法施行規則により、全ての発疹がかさぶたになる(痂皮化)まで出席停止と定められています。

2 水痘とは

水痘は、水痘-帯状疱疹ウイルスの初回感染によって引き起こされる疾患で、空気感染、飛沫感染、接触感染により広がり、潜伏期間は感染から2週間程度と言われています。発疹が発現する前から発熱が認められ、多くは発疹がかさぶたになって(痂皮化)治癒しますが、一部は脳炎・肺炎・肝炎などを合併し、重症化することもあります。治癒した後もウイルスは神経節に潜み、のちに帯状疱疹を引き起こす原因となります。

とくに抵抗力の弱い乳幼児や高齢者、薬剤などの影響で免疫力が低下している人が感染した場合、重症化しやすいので、注意が必要です。

3 その他

(1) 最近5週における定点医療機関からの水痘患者報告状況(表示は、「報告数(患者/定点)」単位:人)

	第26週 (6/24~6/30)	第27週 (7/1~7/7)	第28週 (7/8~7/14)	第29週 (7/15~7/21)	第30週 (7/22~7/28)
浦河管内	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00
全道	0.48	0.16	0.26	0.13	-
全国	0.21	0.23	0.20	0.17	-

※第30週の患者報告数は速報値。

全道の水痘流行状況は、北海道感染症情報センターのホームページでご覧になれます。

(URL:<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)

(2) 水痘注意報・警報とは

厚生労働省の感染症発生動向調査により把握した、全道の定点医療機関を受診した水痘患者数が、国立感染症研究所において設定した注意報・警報レベルの基準値を超えた場合に発令します。注意報・警報は大きな流行の発生や継続が疑われることを示しています。

【発令基準】

警報: 一定点医療機関あたりの受診患者数が2人を超えた場合

※ 警報発令後は一定点医療機関あたりの受診患者数が1人未満になるまで警報を継続

注意報: 一定点医療機関あたりの受診患者数が1人を超えた場合